

四島のかけ橋

第 49 号
平成23年 8 月31日
(水曜日)

発行所
北方領土返還要求運動
神奈川県民会議
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
TEL 045-210-1111 内線3618
発行人 綾井 祐一



平成23年度
北方領土返還要求運動神奈川県民会議総会

平成23年度総会

北方領土返還要求運動神奈川県民会議

平成23年度総会を開催

北方領土返還要求運動神奈川県民会議では、七月二十二日（金）午後三時三十分より、横浜市西区紅葉ヶ丘二番地「もみじざか じよいぶらざ」（神奈川県民会議）において、平成二十三年度北方領土返還要求運動神奈川県民会議総会を開催しました。

新会長に持田文男県議会議長を選任

午後三時三十分、坂井神奈川県民局企画調整課長による開会の辞で始まり、白石副会長が議長として会議を進行しました。

第一号議案役員の選任に
で新たに神奈川県議会議長に就任した持田文男氏を選出しました。また、副会長には、前日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会会長の高橋幸一氏に替わり、同会長の佐野博之氏、事務局長には前日本労働組合総連合会神奈川県連合会副事務局長の久保田政宏氏

号議案平成二十二年収支決算及び監査報告、第四号議案平成二十二年事業計画（案）、第五号議案平成二十三年収支予算（案）を全会一致で承認しました。

◇持田文男会長◇

神奈川県議会議員（川崎市宮前区選出）。平成七年に初当選以来、連続五期当選を果たす。

この間、水資源・みどり対策特別委員会、防災警察常任委員会、新産業・中小企業対策特別委員会、厚生常任委員会、決算特別委員会、議会運営委員会の各委員長を歴任。

平成二十年五月から二十一年五月まで自由民主党神奈川県議会議員団团长。

平成二十三年五月、神奈川県議会議長に就任。神奈川県出身。六十歳。

平成23年度役員名簿

役職名	氏名	団体等の職
会長	持田文男	神奈川県議会議長
副会長	白石俊雄	日本労働組合総連合会神奈川県連合会顧問
事務局長	佐野博之	日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会会長
理事	柏木教一	日本労働組合総連合会神奈川県連合会事務局長
	塚原良一	神奈川県商工会議所連合会専務理事
	瀬戸浩一	神奈川県農業協同組合中央会常務理事
	松尾美智代	神奈川県地域婦人団体連絡協議会会長
	井上早苗	川崎市地域女性連絡協議会会長
	松井佑子	横浜市女性団体連絡協議会会長
監事	綾井祐一	北方領土問題対策協会神奈川県推進委員
	亀井昇雄	神奈川県傷痍軍人会会長
	嶋幸雄	神奈川県中小企業団体中央会専務理事

会長就任にあたって



神奈川県議会議長 持田文男

皆様、こんにちは。ただいま会長にご選任をいただきました神奈川県議会議長の持田文男でございます。この県民会議は、昭和六十年に発足し、今回で二十七年目の総会を迎えるという事で、その間、皆様方に非常に情熱を持って取り組んでいただきました。これまでの努力に心から敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。

戦後終結から六十五年余りが経過しました。また、昭和三十一年に、日ソ共同宣言が出され、これをもつ

としたいと思います。昨年十一月には、メドベージェフ大統領がロシアの大統領として初めて北方四島を訪問しました。これに

対して、日本が抗議しているにもかかわらず、ロシア

を是正し、次なる行動・活動につなげるためには、私が、そのバックボーンを我々が作っていくというところで、声を大にしていかなければなりません。また、

一方、私どもが政府をし、神奈川県民の皆様方に、今一度しっかりと正し

の重責を担う政府要人の訪問が続いており、まさに私たち日本人の気持ちを逆なでしているのではないのかという思いがいたします。

外交交渉は我々一人ひとりができることではありません。政府により初めて外

い認識を持つていただけるよう、我々も活動が続けていく必要がございますし、会員の皆様方一人一人には、この運動のことをそれぞれの方々に伝えていただくことが必要です。

昨年十一月にメドベージェフ大統領、十二月にはシェヴァロフ第一副首相、本年一月にはバサルギン地域発展相、二月にはセルジェコフ国防相の相次ぐ四島訪問、五月には韓国の野党国会議員が北方領土・国後島を訪問した等々、我が国における返還要求外交は後退していると言わざるを得ません。神奈川県民会議としても長期化が予想される返還要求外交交渉に、民間として何が出来るか真剣に考えたいと思います。

（綾井）

灯台

推進委員報告（その二）
今回は平成二十三年度「内閣府の取組」について紹介いたします。内閣府北方対策本部からは平成二十三年度の予算が対前年度比一七・四％を確保した旨の説明がありました。使途は返還要求運動の充実強化、北方領土問題の長期化や元島民の高齢化に鑑み、◇若い世代に対する啓発・教育◇元島民に対する援護（墓参等、後継者育成）の強化◇強調月間である八月を中心とした全国キヤラバンの実施◇各種メディアと様々なコンテンツを組み合わせた集中的な広報啓発の実施◇各種のコンテンツ充実による情報発信機能の強化◇全国北方領土スピーチコンテストの開催◇北方領土教育機会の拡充（根室地域への修学旅行誘致）◇教育実践のための調査研究及び副教材ソフトの作成◇元島民等の北方四島への渡航機会の確保（墓参を含む）「ふるさと訪問」などであり、特に青少年への北方領土問題の啓発を促進していることがうかがわれました。また内閣府では、文部科学省に協力を得て、都道府県教育委員会に中学校の社会科等において「独立行政法人北方領土問題対策協会」等の行う北方領土問題に関する研修や事業への理解や教員等の参加について配慮が得られるよう、所管の学校及び市町村教育委員会に対して周知を図るよう要請しています。

若い世代への啓発事業に力を入れます！

昨年十一月のメドヴェー
ジェフ大統領の国後島訪問
以後、北方領土をめぐるロ
シアとの関係は非常に厳し
い局面にあります。そのた
め、これまで以上に国民世
論を盛り上げ、外交交渉を
後押しする必要があります。

全国スピーチコンテストが
開催されます。

(一) 全国キャンペーン

八月～十一月にかけて、
ロシアとの関係を学びなが
ら、北方四島についても理
解を深めることを目的に、
参加型クイズイベント「ナ
ルホド！ 学べる日本とロ
シア」を考えよう、北方四
島」が全国七都市（札幌、
仙台、東京、名古屋、大
阪、広島、福岡）で開催
されるほか、全国三十六都
市で地方都市イベントが行
われます。神奈川県でも神
奈川新聞社が中心となり、

独自の地方都市イベントが
開催される予定です。
地方都市イベントについ
ては、日時・会場など詳細
が決まり次第、お知らせし
ます。また、イベントの一
環として、県民会議の持田
会長と若者との座談会も企
画されており、その模様は
神奈川新聞の紙面に掲載さ
れる予定です。

(二) 全国スピーチコンテスト

次代を担う若い世代が北
方領土問題を身近な問題と
して捉え、関心を持ち、北
方領土に関する歴史等を正

しく理解することを目的と
して全国スピーチコンテス
トが実施されます。会員の
皆様方におかれましても、
応募の働きかけを是非願
いしたいと思います。

○選考…第一次、第二次、
最終選考（第一次選考に
おいて、各都道府県から
最優秀作一点を推薦しま
す）
※応募方法等詳細について
は、「独立行政法人北方
領土問題対策協会」のホ
ームページをご確認ください。
【参考】
内閣府が、全国二十歳以
上の者三、〇〇〇人を対象
に行った「北方領土に関す
る特別世論調査」（平成二
十年十一月）によると、『今
後、若い世代の北方領土返
還要求運動への参加を促す
ためには、どのような取組
みが重要と考えますか』と
の問いに対して、北方領土
問題に関する学校教育やテ
レビ、新聞等の報道の充実
が重要という回答が過半数
を占めています。

白石副会長が『平成二十三年度北方四島

交流訪問事業』に参加しました

北方四島との交流（ビザ
なし交流）は、日本国民と
北方四島在住ロシア人が相
互に訪問し、ホームビジッ
ト、住民交流会、意見交換
会等を通じて、相互の理解
と友好を深め、ロシア人住
民の北方領土問題に対する
理解を促すとともに、日本
に対する信頼感の醸成を図
ることを目的として行われ
ています。

神奈川県民会議から白石副
会長が参加し、国後島 択
捉島を訪問しました。

この訪問事業の様子は、
本年度県民大会において、
白石副会長から報告する予
定です。

平成四年度に事業が開始
されてから、これまで日本
側と四島側双方合わせて、
延べ一六、三九三人（平成
二十二年三月三十一日現
在）が交流を深めており、
今年度で交流開始から二十
年を迎えます。平成二十三
年度（八月十七日（水）～
二十二日（月）開催）は、



「ロサ・ルゴサ（ギリシャ語で「ハマナス」）号」

☆ 北方領土問題とビザなし交流の経過表
(平成23年 8 月16日付 毎日新聞より)

S20. 8	第二次世界大戦で日本が米英ソ中など連合国側に降伏。ソ連軍が北方四島へ侵攻し、占拠
S31.10	日ソ共同宣言で国交回復。平和条約締結後の歯舞、色丹の返還を明記
S56. 2	第1回の「北方領土の日」（2月7日）
H 3. 4	ゴルバチョフ大統領が来日し、海部首相との会談で北方四島の「ビザなし交流」を提案
.10	外相間の「往復書簡」でビザなし交流の実施を決定
.12	ソ連崩壊。新生ロシアが誕生
H 4. 4	初のロシア側訪問団の受け入れでビザなし交流が幕開け
. 5	初の日本側訪問団が国後、色丹、択捉の3島に渡航
H 5.10	細川首相とエリツィン大統領が「東京宣言」に調印。四島帰属問題の交渉継続に同意
H 6.10	色丹島沖を震源とする北海道東方沖地震が発生。緊急人道支援の供与
H 9.11	橋本首相とエリツィン大統領による「クラスノヤルスク合意」。H12までの平和条約締結に全力を尽くすと約束
H10. 4	橋本首相がエリツィン大統領との会談で「四島の日本への帰属確認後、当面はロシアの施政権を認める」非公式案（川奈提案）を提示。学術や文化など専門家を対象とするビザなし交流拡大に合意
. 7	日本語講師を国後島に初めて派遣
.10	北方領土周辺水域で日本漁船の「安全操業」始まる
H11. 9	元島民らがかつての居住地を訪れる「自由訪問」始まる
.10	日本政府が建設した緊急避難所兼宿泊施設「友好の家」が国後島に完成
H12.10	日本政府のチャーター機が戦後初めて北方領土空域を飛行して国後島へ
H13. 3	森首相とプーチン大統領の会談で日ソ共同宣言を「交渉の出発点」とすることを確認（イルクーツク声明）
H14. 6	北方領土を巡る疑惑にからみ、鈴木宗男衆院議員を東京地検が別件の収賄容疑で逮捕
H18. 8	北方領土・貝殻島付近で日本漁船「第31吉進丸」がロシア警備艇に銃撃され、乗組員1人死亡
H19	ロシアが巨費を投じて四島のインフラ整備や資源開発を行う「クリル（千島）諸島社会経済発展計画」に着手
H21. 1	ビザなし交流に基づく人道支援物資の輸送で、露側が出入国カードの提出を求める
. 2	麻生首相とメドヴェージェフ大統領が会談し、「独創的アプローチ」による領土問題解決で一致
H22. 5	露側が入港税の支払いを求める。領土問題を話し合う「対話集会」を露側が拒否、「意見交換会」に改める
.11	メドベージェフ大統領が露首脳として初の国後島訪問
H23. 5	20年目の交流スタート

新会員の紹介

今年に入り、新たに七団
体の方々に加入いただきま
した。

新規加入の皆様、どうぞ
よろしく願いたします。

県民会議としても、これ
を機にさらに活動を前進さ
せていきたいと思います。

(会員名簿順)

○ 神奈川県行政書士会 様

○ 神奈川県情報サービス
産業協会 様

○ 神奈川県専修学校各種
学校協会 様

○ 神奈川県中小企業家同
友会 様

○ 神奈川県バス協会 様

○ 神奈川県薬剤師会 様

○ 横浜貿易協会 様

編集後記

◇田島前会長 一年間ご支援
ありがとうございました。
特に本年三月には神奈川県
議会として内閣総理大臣を
含め、関連各大臣宛に「北
方領土問題の解決促進を求
める意見書」を提出いただ
き、ありがとうございました。
◇持田新県会議長、本
年度の会長職よろしく願
いたします。昭和六十年
に神奈川県民会議が設立さ
れて四半世紀が経過しまし
たが、遅々として進展しな
い返還要求を前進させるべ
く、皆様の更なるご支援を
お願いいたします。(綾井)